厳しい酪農を改良面からアシスト

GenIUS活用して優良後継牛確保を

（一社）日本ホルスタイン登録協会　会長　前田　勉

前田会長

明けましておめでとうございます。

会員酪農家並びに酪農関係の皆様には、日頃から当協会事業に対しまして、多大のご理解ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。本年も引き続き事業推進にあたって、ご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

さて、本年は元日早々に石川県能登地方で震度7の大地震が発生し、大きな揺れと2メートルに及ぶ大きな津波の発生、土砂崩れや家屋倒壊等によって多くの人命が失われました。私もよく存じている能登半島先端の酪農家では牛舎倒壊と畑地の大きな地割れ、その近隣酪農家でも数日間は停電と断水で大変苦労されていることを聞き、すぐに救済のお手伝いができずに大変申し訳なく悔しい思いで一杯です。亡くなられた方々に対しまして哀悼の意を表するとともに、被災された多くの皆様方に心からお見舞い申し上げ、1日も早く復旧されますことを祈念申し上げます。

酪農家の窮状、国の支援対策に期待

一昨年来の世界的な社会情勢不安や気象変動等の影響は、わが国でも円安による物価高騰を招き、国民生活は勿論ですが、酪農業界では飼料・資材の多くを輸入に依存してきたため、購入飼料価格が高騰する一方で、牛乳の需給ギャップ解消に向けた生乳の生産調整と子牛販売価格の下落等の大幅な収入減という、かつて経験したことのない苦境に立たされています。「令和の酪農危機」は酪農家の離農に拍車をかけ、離農割合は前年の1・5倍にも増大しました。

生産者団体や乳業メーカーの努力で、飲用向乳価の年2回引上げや国からも畜産・酪農緊急対策が講じられています。また、昨年末には令和6年度の農林水産関係予算が決定し、酪農経営安定対策の増額や国産飼料の増産・安定供給対策、乳用牛改良推進や持続的生産のための支援対策が盛り込まれており、この窮状がいくらかでも好転することを期待したいところです。

「改良は、進むは遅いが退くは速し」

離農農家の増加は、当協会の登録事業にも大きく影響し、特に都府県における血統登録頭数は前年同期に比べて88％と大幅な減少となっています。酪農家各位も大変厳しい状況ですが、「乳牛改良は、進むは遅いが退くは速し」で、改良の基本である登録を一旦止めてしまうと血統（素性）が曖昧になり、知らないうちに強い近親交配や遺伝病保因になる可能性が大きく、その結果、生まれてきた雌子牛の発育減退や泌乳能力の減少、奇形等の遺伝病を発症する危険度が上昇します。血統登録をして的確な交配をすることで、これらのマイナス要因を未然に防げるわけですから、それだけでもより優良な後継牛を残すことが可能になります。

自動登録推進と新たな情報の提供

当協会では本年も、安価で申込書不要の「自動登録」の普及拡大を図ります。また、牛群検定農家において育成牛のＳＮＰ検査を受けていただきますと、牛群遺伝情報と併せて、昨年8月からは当協会Ｗｅｂサイトに「ゲノミック情報利活用システム（ＧｅｎＩＵＳ：ジーニアス）」とゲノミック評価速報値のページを開設し、前者は牛群内の雌牛遺伝評価値一覧と遺伝的傾向（全国平均との比較）、近交係数の傾向、未経産牛のゲノミック遺伝評価値グラフ等を分かりやすく可視化し、後者は個体の10桁番号によって、家畜改良センターから毎週提供されるゲノミック評価速報値について、スマートフォンでも簡単に見ることができます。

このほか、多くの種雄牛との近交係数を検索できる近交情報システムＷｅｂや検定成績証明の自動継続農家が利用できる登録・審査・検定証明等の情報を集約して参照ができる「登録情報活用システム（ＲＩＵＳ：ライアス）」等、1つ進化した乳牛改良情報システムを是非利用していただき、明日さらに将来に向けて、より優良な牛群基盤を確保していただきたいと思います。

第16回北海道全共まであと1年9か月となりました。当協会では、大会の成功に向けて万端の準備を進めてまいりますので、皆様方にはご支援ご協力をお願いしますとともに、ますますのご健勝とご発展を祈念申し上げて、新年のご挨拶といたします。

今後の行事

日本ホル協

◇令和5年度社員会議
△東日本▽令和6年2月9日（ビジョンセンター品川）、△西日本▽2月2日（福岡朝日ビル）
◇令和5年度冬期登録事務担当者会議
1月31日(Ｗｅｂ開催)
◇第321回理事会
3月22日（ビジョンセンター品川）
◇第322回理事会
5月31日（ビジョンセンター品川）
◇第323回理事会
6月21日（ビジョンセンター品川）
◇第74回通常総会
6月21日（ビジョンセンター品川）

社員補欠選挙

当選者

社員辞任に伴う補欠選挙が熊本県で1月16日に実施され、無投票で当選者が決定したので公示します。【敬称略】

◇第53区（熊本県2）
石本　幸一

2023ジャジング・スクールin宮崎

初の宮崎県開催に全国126名が集結

全国ホルスタイン改良協議会（中六角保広会長）は、12月1日・2日の2日間、宮崎県乳用牛改良同志会（今山陽一会長）並びにＪＡ宮崎経済連・ＪＡ都城の協力のもと、令和5年度ジャジング・スクールを「都城地域家畜市場」において開催した。

会場となった都城地域家畜市場は、コロナ禍の影響により惜しくも開催中止を余儀なくされた第15回全日本ホルスタイン共進会九州・沖縄大会の開催予定会場であり、屋内審査場や係留場などが十分に整備された施設である。宮崎県で初開催となったこのスクールに北海道から地元宮崎までの全国126名の酪農関係者がこの地に集結した。

初日の開講式では、中六角会長（岩手県）から主催者を代表して地元乳用牛改良同志会をはじめ各関係機関に対する感謝の意が述べられ、次に地元乳用牛改良同志会の今山会長から「畜産と焼酎の街・都城市へようこそ。第15回全共は開催中止となりましたが、全国から数多くの同志がこの地に集まったことはとても感慨深く、宮崎県で初開催となるジャジング・スクールが厳しい酪農業界の明日への活力となることに期待している」と、力強い挨拶が述べられた。引き続き、宮崎県畜産局畜産振興課水野課長から歓迎の挨拶が述べられスクールは開講した。

中六角会長

パネラーに細野淳氏（アルタジャパン(株)）

スクールの重要な役割を担うパネラーには、アルタジャパン（株）細野淳氏を招き、今年度から3年間にわたりショウジャッジにおける技術指導を担当する。また、参加者の審査講評技術について評価・助言を行うアドバイザーには、熊本県松島喜一氏・静岡県高橋直人氏・北海道瀬能剛氏を招き、4名を代表してパネラーの細野氏よりジャッジマンの役割と審査講評の重要性について解説が行われた。

パネラーの細野氏

序列付けと審査講評技術を研修

開講式の後、今回が初参加の一般クラスと学生は、ホルスタインの審査標準・好ましい審査手順・審査講評のポイントについて座学による研修を行った。また、ジャッジマン候補・認定ジャッジマンは審査会場において、ホルスタイン種未経産1クラス・経産2クラスの計3クラス（4頭1組）について、それぞれが序列付けを行い、答案提出後に指名された受講生がそれぞれの序列付けに基づき審査講評を行い、最後にパネラーの細野氏による模範解答と審査講評が行われた。

座学研修を受ける一般クラスと学生

酪農講演会を開催

スクールに併せて酪農講演会を開催。今回は、（一社）日本ホルスタイン登録協会事業部長の國行将敏氏並びに登録課長の門間裕子氏を講師に招き、「改良情報の充実と自動登録の推進」と題し講演が行われた。特に、自動登録のメリットや自動登録同時ＳＮＰ検査の推奨、ゲノミック評価を有効活用するため新たに開発されたＷｅｂサービスシステム「ＧｅｎＩＵＳ」の具体的な活用方法など、同協会が血統登録牛に提供可能な各種サービスについて解説が行われた。

好ましい審査手順の研修

2日目は早朝から特設審査場で受講生全員が計4クラス（ホルスタイン種未経産2クラス・経産2クラス）の研修を行った。その後、未経産・経産の各クラス上位2頭を出品し、個体クラスとは異なるグランドチャンピオン決定審査の進め方や、審査講評はもちろん主催者や出品関係者への謝辞等、その共進会を締めるまでがジャッジマンの重要な役割であること等の解説が丁寧に行われた。

最後に、中六角会長からパネラーの細野氏をはじめ、審査講評アドバイザーと素晴らしい供試牛を準備いただいた地元乳用牛改良同志会に謝辞が述べられ、スクールは閉講した。

認定ジャッジマンと候補生による序列付けの様子

2023ジャジングスクール参加者集合写真（2023年12月２日　都城地域家畜市場にて）

日本ホル協特集

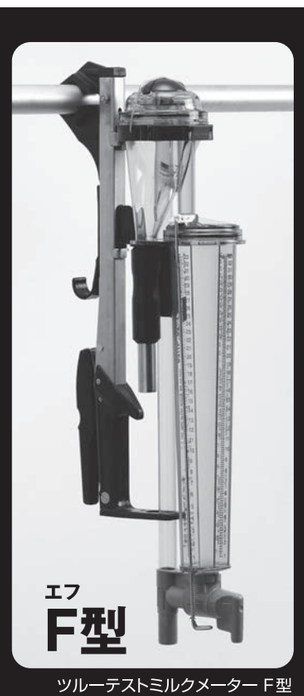
TRU-TEST

ツルーテスト　ミルクメーター

能力検定には〝ツルー〟

使いやすく正確な計量とサンプリング

ツルーテストミルクメーター FV型



ツルーテストミルクメーター F型

世界の乳用動物検定事業で最も多く使われている乳量計。あらゆる搾乳施設（パイプライン、各種パーラー）に適合!!

FV型

型式	最大計量	長さ	全幅	奥行	重量
540036	33Kg	77.0cm	17.5cm	18.0cm	1.10Kg
540031	50Kg	77.0cm	17.5cm	18.0cm	1.10kg

F型

型式	最大計量	長さ	全幅	奥行	重量
540030	33Kg	63.0cm	10.5cm	24.0cm	1.75Kg
540037	50Kg	63.5cm	10.5cm	24.0cm	1.75kg

I.C.A.R …… 認定済
(一社)家畜改良事業団 …… 認定済
日本ホルスタイン登録協会 …… 認定済
世界各国検定事業組織 …… 認定済

◎各型式、仕様、価格等は予告無く変更する場合が有ります。

●お申し込みは、各乳機販売店へ

株式会社 IDEC（アイデーイーシー）

0145-22-2237

URL : https://www.idec-jpn.com

性選別精液の利用で効率的な後継牛生産と、Sort90-Yを用いたIVF卵の活用による高付加価値生産で収益アップ!!

一般社団法人 家畜改良事業団
〒135-0041 東京都江東区冬木 11-17 イシマビル　☎03-5621-8911

■十勝種雄牛センター　☎0155-54-2889
北海道事業所　☎011-242-9641
■盛岡種雄牛センター　☎019-683-2450
■前橋種雄牛センター　☎027-269-3311
東海近畿事業所　☎0564-57-2055
北関東駐在所　☎028-678-5424
■岡山種雄牛センター　☎0868-57-2475
■熊本種雄牛センター　☎096-279-2647
お問合せは、最寄りの種雄牛センターへ

※当団の性選別精液（Sort90）を用いた体外での胚生産等は許可していません。体内受精卵の生産は可能ですが、販売目的の場合は各種雄牛センターにご相談ください。